

竹取新聞

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階

第94版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

体験から変わっていく

大分県の宇佐市にあります
普照こども園様へお伺いしました。

園長の江島先生は、この業界の先を見据え、子どもたちにとってどんな環境や力が必要になってくるのかを考え、「見守る保育」を実践し、そして今回、大人たちにはどんな環境が必要なのかと自問され考え

た中で、職員同士も見守り合う関係が深まっていくという『ロードマップ』の導入を決めました。

その導入研修を終えた後の江島先生からは、「会議とは先の予定や行動を決めていくことが中心だ」と思っていました

が、『振り返り』を中心にしていく事でこんなに職員の反応が変わり「やっぱりか」と思いました。「という感想が。協働ゲームを体験し、自然と意識が切り替わった」と仰る先生方、「子どもたちを変えようと

するのではなく、自分たちが変わっていくことが大切」と気付いていく先生方。その場には

私たちも幸せだったのは、そう仰られる先生方の顔が何よりもうれしそうで楽しそうだったからです。それは、もと

も先生たち自身の心が求め

ていたことだからこそのように感じます。

そもそも、人は協力し合い、お互いに助け合い、楽しく幸せに働きたいと思っているのだと感じるからこそ、それを信じ、実現できる環境を追求していく事が私たちの役目でもあるように思います。



先生方同士も、一人一人の「人格」を大切に。理念を深める実践がこれから新たに始まります。

「福」の眼差しで

香川県にある、観音寺中部保育園様へお伺いしました。子どもの発達がチェックできる『ミマモリングソフト』のサポート後、先生たちの振り返りから、保育者としての大事な眼差しを学ばせて頂いたの

で、いくつかご紹介したいと思います。

「できている、できていない」と、子どもの評価をするだけでは、保育が深まらない。ソフトを使って『自分たちの評価』をすることで次に必要な保育が見えてきたり、環境がわかってくるのだと気付いた。「若い職員に『深めなさい』と言う

のではなく、一緒に振り返り聞き合い、その深さを味わっていくことが大切だと思った。」

「ネガティブな人をポジティブに変えるのではなく、ネガティブだからこそ持つ『こうなるかもしれない…』の不安を、そのまま『危機感が高い』と捉え

リスク管理に活かす…」というように、見方や価値観を転じることが大事だと気付いた。

など、様々な声を頂きました。改めて、自分を省みる大切さや、一方的ではなく一緒に築いていく豊かさ、そして「新人よりベテランがすごい」ではなく

「ベテランの経験」「新人の刷り込みのない発想」など、そのどちらもがチームにとって財産であり、「良い悪い」という二極ではなく、今ある現状をどう活かすかの「福」の眼差しが大事なのだと感じました。私たちも見守り合いの社会を目指す中で、そんな眼差しを忘れずにいたいのです。



緑豊かな環境に、動物や鳥たちもいっぱいの中、とても穏やかに保育が行われていました！

学びの醍醐味

今年度も臥竜塾年間講座が開講しました。臥竜塾年間講座とは、東京都にある新宿せいが子ども園の職員が毎回テーマを設け、実施する講座のことで、今年は「文字・数・科学」をテーマに10回の実施が予定されています。

文部科学省は「社会が激変するなか、大学、大学入試、高校が変わらなければ日本は生き残ることができない」と言っています。そこで、センター試験もマークシートで答えられない問題に変わり、覚えた知識をどう活かすかといった問題にシフトしていくようです。

では、それは高校からでいいのか!?という問題提起から、乳幼児期における教育とは何かを深めていくため、今年度も年間テーマが設けられ講座が行われていきます。

この講座のテキスト、「保育者のためのほじまりシリー

ズ」は2001年に出版され、現在は絶版で入手困難な一冊です。出版から16年経っても色あせない内容に驚くとともに、講座では本の内容に沿って具体的な事例を発信することに意義を感じます。そして「保育所保育指針」が改定されるこのタイミングで、現場から教材作りを発信していくところにも、この講座の更なる意義を感じます。

同じ講座を受講しても各園で新たな発展を遂げ、それぞ

れの実践を学び合えるのは、この講座の醍醐味です。先生方の学び姿勢のように、私たちも学びを深めていきたいと思



講座で作った「文字」の教材。今後は「数」「科学」についても学びを深めていきます。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

さをり織り

昨年の理念研修で人生初の機織りを体験したクルーが、『さをり織り』の工房に通うようになって半年が過ぎ…、ついに先月、展示会に作品を出展することになりました。そこでお祝いの気持ちも兼ねて皆で会場に足を運ぶことに！

男性だけの手織り作品展、通称『オレ展』。機織りをする9割以上は女性だと言われますが、男性たちも負けていません！クルーからもらった案内状には、8人の男たちが誇らしげに映り、工房の楽しそうな雰囲気伝わってききました。

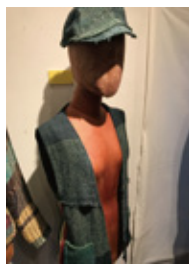


男性8人が笑顔で並ぶ楽しい案内状です！



リクエストに応え、作ったクルー自らが試着してボーシング☆

「織りもあまく、裁断もミシンも縫いも曲がり、決してお店のショーウィンドーに並ぶことはありません。ただ、アルカバの糸を染め、それを縦糸にして使い、沢山の方から教わり仕上がった一着で、私にとっては子どもたちに自慢できる逸品です。」そんな風に作品を紹介してくれたクルーからは、『さをり織り』を通して、それ以上のものを学び味わっている姿が見られました。仲間が興味を持ち深めているものを一緒に味わえるのは、嬉しく有難いことだと感じています。



習い始めて半年と思えないほど素晴らしい作品に、一同興奮！！

励まし合える関係

この竹取新聞でも度々ご紹介しております、沖縄教育出版様。一昨年会社見学をさせて頂いてからのご縁ですが、先日お手紙を頂き、社内で毎朝100人分の玄米を炊いて、朝食と昼食に食べる実践を始めたとのこと！カグヤでも玄米食のお弁当を頂いているので、遠く離れた地でも同じ実践をしていることに



可愛いパッケージそのままのホッとする優しいお味です。



暑い季節にはアイスもよさそう♪

勇気をもたうご報告です。さらに新商品の飲む玄米『玄米しる』を同封頂きました！沖縄教育出版様は今、新事業やサービスなど色々なことに挑戦中なのだそうで、そんな中生まれたのがこの『玄米しる』とのこと。早速みんなで試飲会を行いました。ほんのり甘くて体に優しいお味がとても飲みやすく、女性の多い職場でもあるお客様のもとへ訪問時にお土産としてもお持ちできる日も近い？？かもしれません。

こうしてお客様やパートナー様と交流が続く、お互い励まし合える関係でいられることに感謝しながらご縁を繋いでいきたいと思います。

優先順位

先日、ある園の先生方がカグヤへ会社見学に来られました。そのような日の前日は、通常業務を行いながらも「自分たちの本場の仕事とは何か」を考え、自然といつも以上に入念に掃除を行うこともあり…。今回も社長が率先して花を買に行ったり掃除機をかける姿が見られ、こうして優先順位を示してもらえることで、会社の理念や私たち自身が守られていることを感じました。

一期一会庵

「古くても新しい」

先日、築120年の古民家「聴福庵」に4名の高校生に来ていただき、一緒に古民家誕生の体験を行いました。子どもたちと暮らしながら格子窓や外壁の板にベンガラ塗料を塗ったり、庭の草刈りや掃除を一緒に行いました。みんなはじめての体験だったそうですが、とても上手で手際よく、楽しそうにイキイキと作業をする様子に、昔あったような懐かしい未来を感じました。今では、西洋の建築が主流になっていますから、掃除の仕方など手入れの方法も昔とは大きく異なっています。本来の日本的な風土を感じるかつての暮らしは、子どもたちの五感にとってもいい影響を与えることができると思います。一人ひとりの感想をお聞きすると、「滞在中ずっと季節を感じることができた」とか、「理屈抜きで手間暇をかけるということを感じることができた」とか、「今まで泊まった高級旅館などと比べてどこよりもドキドキワクワクしっぱなしだった」など目を輝かせて伝えてくれました。

古いものを古いと思うのは西洋から入って

目の前のことに追われると、つい優先順位を見失うことがあります。が「子どもの憧れる生き方・働き方になっているか」と自問し、皆で会社の風土を創り、守っていききたいと思えます。



余裕がなくなれば社内の花が枯れている事にも気付かせません。常に「何が本業か」と振り返り、皆で理念を守り合っています。

編集後記

今月もご覧頂きまして、誠にありがとうございます。段々と暑くなりますが、どうぞお身体にお気をつけてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

caguya
株式会社 カグヤ

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

☎フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)